

教育研究業績書

2020年10月27日

所属：教育研究所

資格：教授

氏名：中井 昭夫

研究分野	研究内容のキーワード
発達行動小児科学, 小児精神神経科学	神経発達障害, 小児精神障害, 子どものこころ
学位	最終学歴
医学博士	福井医科大学大学院博士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. オンライン・オープンキャンパスの発案・企画・実践	2020年7月5日	新型コロナウイルス感染症の影響の中、大学院 臨床教育学研究科初のZoomによるオンライン・オープンキャンパスを発案・企画・実践した。 https://cutt.ly/0o7d3Vg
2. Light It Up Blue MUKOJO! 2020～武庫女を青く照らそう!～	2020年4月	昨年度の学院80周年記念事業公募型採択行事に引き続き、今年度は特別研究により、4月2日の世界自閉症啓発デーと引き続き発達障害啓発週間の間、研究所棟をブルーライトアップした。ただし、4月18日開催予定であった市民公開講座はCOVID-19により延期(日程未定)となっている。
3. 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科・教育研究所「保育士・幼稚園教諭・子育て支援者のためのレベルアップ勉強会」	2019年7月27日	担当委員として企画・開催するとともに、「睡眠から子どもの発達を考える～子どもの睡眠の問題と発達障害～」と題して講演を行った。
4. 教育研究所 子ども発達科学研究センター「『子どもの発達』を学ぶ会」	2019年7月13日	「自閉症スペクトラム障害はリズム障害である～睡眠から考える神経発達障害～」其の二
5. 2019年度 大学院臨床教育学研究科オープンキャンパス	2019年7月07日	大学院臨床教育学研究科オープンキャンパスを担当委員として企画・開催するとともに、体験授業「身体性から発達障害を捉え直す～発達障害の理解と支援のプレイスルー～」を行った。
6. 教育研究所 子ども発達科学研究センター「『子どもの発達』を学ぶ会」	2019年6月15日	「自閉症スペクトラム障害はリズム障害である～すいみんから考える神経発達障害～」其の一
7. 武庫川学院創立80周年記念事業公募型採択記念行事 Light It Up Blue MUKOJO!～武庫女を青く照らそう!～	2019年4月2日～2019年4月27日	国連の定めた世界自閉症啓発デーと、それに続く発達障害啓発週間の間、MM館前のもみの木と教育研究所棟を青くライトアップ、4月27日には市民公開講座「発達障害の世界を感じてみよう!」で講演を行った。
8. 特別学期「眠育(睡眠教育)のススメー子どもの睡眠の問題と発達との関係の理解と対応ー」	2019年	特に子どもの発達における睡眠の重要性について、また、深刻な問題となっているICT依存に関する最新の研究成果を紹介し、受講者自身のメンタルヘルスなどへの意識改革を行うとともに、ワークショップ形式を採用し、実際の臨床例での睡眠表の読み解き方に関する知識と介入に関するスキルを身につけ、将来の対人援助の実践に寄与する。
9. 2018年度 大学院臨床教育学研究科オープンキャンパス	2018年12月23日	大学院臨床教育学研究科初のオープンキャンパスにて体験授業「カラダからみたココロの発達～発達障害支援のパラダイムシフトを目指して～」を行った。
10. 学院創立80周年記念事業 公募型記念行事(第1次)に採択	2018年11月	学院創立80周年記念事業 公募型記念行事(第1次)に採択された。
11. 教育研究所子ども発達科学研究センター「『子どもの発達』を学ぶ会」	2018年09月1日	クウ・ネル・アソブ～カラダからみた子どものココロの発達～
12. 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科「保育士のためのレベルアップ勉強会」	2018年07月28日	「子どもの睡眠の問題への理解と対応～発達障害との関わり～」と題して講演を行った。
13. 「サービス・ラーニング」の提案	2018年	新任教員研修において「サービス・ラーニング(教育活動の一環として、一定の期間、地域のニーズ等を踏まえた社会奉仕活動を体験することによって、それまで知識として学んできたことを実際のサービス体験に活かし、また実際のサービス体験から自分の学問的取組や進路について新たな視野を得る教育プログラム)の導入」としてのLight It Up Blue MWUを提案した。
14. 共通教育科目「大学 学び発見ゼミ」 「こころの始まりとしての赤ちゃん」	2018年	アクティブ・ラーニング、ディベート、ビジュアル教材の利用などインタラクティブな手法を用いて、命の教育、こころの発達の理解、最新の研究結果をリテラシーもって吟味する力などを育む。さらに受講者から武庫川女子大学の教育についてへの提言などを行なっている。
15. 連合小児発達学研究科	2012年～2014年	連合小児発達学研究科福井校「こころの形成発達科学講座」において、遠隔講義システムによるリアルタイム講義、E-ラーニングコンテンツを用いて、教師、心理士、看護師、保健師、セラピストなど社会人大学院生を対象に教育を行なった。
16. 連合小児発達学研究科雑誌「子どものこころと脳の発達」編集委員	2009年	連合小児発達学研究科の雑誌の編集委員を務めた。
17. 対人支援職養成課程でのインタラクティブ講義	2002年～現在	複数の大学における、養護教諭・特別支援教育教諭、保

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		育士・幼稚園教諭などの養成課程での非常勤講師を担当。動画や実際の症例、ディベートなどインタラクティブな講義を行なっている
2 作成した教科書、教材		
1. 発達性協調運動障害 (DCD) の理解と支援 全2巻 (丸善出版)	2019年	発達性協調運動障害 (DCD) に関する映像教材 (DVD) 全2巻の監修
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 第67回熊本保健研究会	2020年2月2日	「不器用さには理由がある?! ~気づかれないもう一つの発達障害へのアプローチ~DCD (発達性協調運動障害)」 「小児科医だからできる身体性からの神経発達障害へのアプローチ~キーワードはDCD (発達性協調運動障害) ~」
2. 香川県医師会「令和元年度 プライマリケア医等・発達障害対応力向上研修会」	2019年9月8日	「神経発達障害は身体障害? ~DCD (発達性協調運動障害) というキーワード~」
3. 茨木市教育センター支援教育研修	2019年7月30日	子どもの睡眠障害と発達障害との関連について
4. 兵庫県立教育研修所「令和元年度 高等学校中堅教諭等資質向上研修」	2019年7月25日	「不登校14万人の影に潜む子どもの睡眠障害~医学・医療から不登校へのアプローチ~」
5. 大阪市立宮原小学校 研修会	2019年7月23日	目からウロコの「特別じゃない」特別支援教育~神経発達障害の正しい理解と支援~
6. NPO法人オルケスタ2周年記念講演会	2019年5月25日	睡眠からみる子どもの発達~子どもの睡眠の問題の正しい理解~
7. 武庫川学院80周年記念事業公募型採択行事「Light It UP Blue MUKOJO! ~武庫女を青く照らそう! ~」市民公開講座「発達障害の世界を感じてみよう!」	2019年4月27日	「発達障害のカラダのここと? ~発達障害を身体性から考える~」
8. 大阪医科大学LDセンター 「教師力を高める研修シリーズ」	2019年3月2日	「眠育はなぜ大切か ~子どもの睡眠の問題を考える~」
9. 尼崎市医師会「乳幼児保健講演会」	2019年2月20日	「不器用な子どもたち~DCD (発達性協調運動障害) という視点からの理解と対応~」
10. 一般社団法人 笑壺研 (ETUBOLAB) 設立記念シンポジウム	2019年11月3日	ASDは私の誇り! ニューロダイバーシティの世界に向かって Proud to be on the Spectrum! Toward the World of Neurodiversity.
11. 認定NPO法人エッジのLSA (学習支援員) 養成講座	2019年10月27日	「子どもの睡眠障害の正しい理解に向けて~ICT依存にも触れて~」
12. 睡眠リズム障害患者会 (R&S) x おひさまの家の関東関西交流勉強会	2019年10月20日	「生活リズムは生体リズム~生活習慣で自分の脳と身体をコントロールする~」
13. 大阪市教育委員会保護者講座	2019年10月16日	睡眠からみた子どもの発達とその障害
14. 京都府社会福祉事業団こども発達支援センター 発達障害講演会2018	2018年9月29日	「子どもの睡眠障害の理解と支援にむけて」
15. 武庫川女子大学教育研究所「子ども発達科学研究センター」 「子どもの発達を学ぶ会」	2018年9月1日	「クウ・ネル・アソブ (食事・睡眠・運動) ~カラダからみた子どものココロの発達~」
16. 阪神地区発達障害学術講演会	2018年8月2日	「小児科医だからできる発達障害への身体性からのアプローチ~発達性協調運動障害を例に~」
17. 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科「保育士のためのレベルアップ勉強会」	2018年7月28日	「子どもの睡眠の問題への理解と対応 ~発達障害への関わり~」
18. 兵庫県立教育研修所「平成30年度 高等学校中堅教諭等資質向上研修」	2018年7月26日	「発達障害の診察室から見えてきた新しい発達障害の理解とライフステージを見据えた今必要な支援・今できる支援」
19. 「ひまわりの会」第60回講演会	2018年7月22日	「不器用な子どもの理解と支援~発達性協調運動障害 (DCD) について~」 ターナー女兒・女性とその家族の会「ひまわりの会」
20. 鯖江市保育協議会総会 特別講演	2018年5月26日	「寝る子は育つってホント! ちゃんと寝るって? ~子どもの睡眠と発達との関連について~」
21. 第14回高知AD/HD研究会	2018年12月7日	「睡眠から発達障害を捉え直す」
22. 大阪市港区「2018年度 第34回 みなと人権展」	2018年12月4日	「発達性協調運動障害 (DCD) とは~不器用と言われる子どもたちへの理解と支援~」
23. 認定NPO法人EGDE LSA (学習支援員) 養成講座	2018年11月7日	「子どもの発達障害と睡眠の問題 ~ICT依存にも触れて~」
24. 平成30年度「下関子どもの心の研修会」	2018年11月2日	「発達障害は身体障害? ~発達障害を身体性から考えてみる~」
25. 子どもの発達支援を考えるSTの会 全国研修会in大阪	2018年10月7日	「子どもの睡眠の問題への理解と対応 ~発達障害とのかわり~」
26. 大阪市都島区役所「子育て支援室講演会」	2018年10月24日	「子どもの睡眠、大丈夫?! ~睡眠の問題が子どもの発達に与える影響について~」
27. 平成30年度 第1回岡山県「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会」	2018年10月21日	「発達性協調運動障害 (DCD) ~発達障害への身体性からのアプローチ~」
4 その他		
1. Marquis Who's Who Lifetime Achievement Award	2018年	

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
2018		
2. 日本作業療法士協会 奨励賞（共著）	2015年	
3. 日本発育発達学会 優秀研究賞（共著）	2015年	
4. 福井大学医学部 優秀論文賞（筆頭）	2011年	
5. 福井大学医学部 附属病院 功労賞	2008年	
6. 第1回日本母性看護学会 学術論文賞（共著）	2007年	

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要

1 資格、免許		
1. 子どものこころ専門医	2019年9月29日	http://kks-kokoro.jp/index.html
2. 公認心理師	2019年2月5日	
3. 日本小児科学会認定「小児科指導医」	2017年4月1日	
4. 日本小児精神神経学会「認定医」	2011年9月1日	
5. 日本臨床薬理学会「特別指導医」	2009年1月1日	
6. 臨床発達心理士認定運営機構 臨床発達心理士	2008年4月1日	
7. 日本小児科医会認定「子どものこころ」相談医	2002年10月1日	
8. 身体障害者福祉法第15条指定医	2001年12月1日	
9. 日本小児科学会「小児科専門医」	1991年10月1日	
10. 医師免許証	1986年6月9日	

2 特許等		
1. 第5360815号 取得（特願2009-074306） 発声訓練支援装置及びそのプログラム	2013年9月	

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 先端医療振興財団 先端医療センター研究所 上席研究員	2014年～2015年	
2. 日本学術振興会 アジア研究教育拠点事業「脳科学と疫学の連携によるこころの教育・研究拠点」研究協力者	2012年～2013年	
3. McGill大学モントリオール神経研究所 McConnell Brain Imaging Centre ポストドクトラルフェロー & リサーチスタッフ	1998年9月～2000年9月	

4 その他		
1. 東北大学大学院 教育学研究科 非常勤講師	2016年	
2. 鳥取大学 地域学部地域教育学科 非常勤講師	2015年～現在	
3. 神戸親和女子大学 発達教育学部 非常勤講師	2014年～2015年	
4. 福井大学医学部附属病院「子どものこころ診療部」客員教授	2014年～2015年	
5. 金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 非常勤講師	2007年～2009年	
6. 福井大学 教育学部（教育地域科学部）学内講師／非常勤講師	2002年～2018年	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

1 著書				
1. クリニカルガイド小児科 専門医の診断・治療	共	2020年（印刷中）	南山堂、東京	中井 昭夫「不登校・睡眠障害」
2. 今日の小児治療指針 第17版	共	2020年（印刷中）	医学書院、東京	中井 昭夫「睡眠関連疾患（不適切な睡眠衛生／概日リズム睡眠・覚醒障害群）」
3. 発達性協調運動障害 ～不器用さのある子どもの理解と支援～	共	2019年	金子書房、東京	中井 昭夫「医学・脳科学からみたDCD」
4. 公認心理師技法ガイド～臨床の場で役立つ実践のすべて～	共	2019年	文光堂、東京	中井昭夫 「発達性協調運動障害の検査」
5. 発達性協調運動障害（DCD）の理解と支援 全2巻	単	2019年	丸善出版 映像メディア部	発達性協調運動障害（DCD）に関する映像教材（DVD）全2巻の監修
6. 発達障害白書 2018年版	共	2018年	明石書店、東京	中井昭夫「時の話題 日本DCD学会設立」
7. 発達障害医学の進歩 30	共	2018年	日本発達障害連盟、東京	中井昭夫 「不器用な子ども－DCDという視点からの理解と支援－」
8. 発達障害のリハビリテーション 多職種アプローチの実践	共	2017年	医学書院、東京	中井昭夫、若林秀昭、阿部佳奈 「DCD」
9. こどものリハビリテーション医学 第3版 ～発達支援と療育～	共	2017年	医学書院、東京	中井昭夫 「発達性協調運動症／発達性協調運動障害」
10. LD・ADHD等関連用語集 第4版	共	2017年	日本文化社、東京	中井昭夫 「睡眠障害：Sleep Disorders」

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
11. 発達障害事典（日本LD学会）	共	2016年	丸善出版、東京	中井昭夫「発達性協調運動症/発達性協調運動症障害」 中井昭夫 「睡眠障害」
12. データで読み解く発達障害	共	2016年	中山書店、東京	中井昭夫 「発達性協調運動障害（DCD）」
13. 児童心理学の進歩 55（日本児童研究所）	共	2016年	金子書房、東京	中井昭夫 「協調運動から見た神経発達障害」
14. いま、小児科医に必要な実践臨床小児睡眠医学	共	2015年	診断と治療社、東京	監修 三池照久、小西行郎、中井昭夫 豊浦麻記子、中井昭夫 「小児睡眠障害とICT（情報通信技術）依存」 pp. 69-76. ②中井昭夫 「小児睡眠障害と運動」 pp. 77-85. ③中井昭夫 「小児のむずむず脚症候群（RLS）」 pp. 86-87 ④中井昭夫 「ナルコレプシーのきょうだい例」 pp. 118-119
15. Images in Child Neurology 続・イメージからせまる小児神経疾患 50 -症例から学ぶ 診断・治療プロセス-（日本小児神経学会）	共	2015年	診断と治療社、東京	中井昭夫「胎児期からの水頭症と、筋緊張低下、肝障害、治療抵抗性けいれんを認めた新生女児」
16. 子どものPTSD：診断と治療	共	2014年	診断と治療社、東京	中井昭夫「子どものトラウマへの予防と治療としてのペアレントトレーニング」
17. 発達障害児者支援とアセスメントのガイドライン	共	2014年	金子書房、2014	中井昭夫「発達障害領域でよく使用されるアセスメントツール；協調運動機能のアセスメント：DCDQ-R、Movement-ABC2」 pp. 257-264. 中井昭夫「アセスメントツールの活用の仕方：発達性協調運動障害（Developmental Coordination Disorder: DCD）の発見、診断のためのアセスメント」 pp. 290-296.
18. ADHD: Cognitive Symptoms, Genetics and Treatment Outcomes.	共	2013年	Nova Science Publishers, Inc. New York.	Nakai A. Motor Coordination Dysfunction in ADHD : New Insights from the Classroom to Genetics.
19. 小児科学レクチャー「プライマリケアで使える子どもの発達と心の問題への対応 Q&A	共	2012年	総合出版社、東京	中井昭夫「不器用な子ども-発達性協調運動障害-」
20. 日本における子供の認知・行動発達に影響を与える要因の解明：すすくコホート実践記録集（「脳科学と社会」研究開発領域）	共	2011年	独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター	川口英夫、中井昭夫 「コホート研究組織構築と研究地域拠点選定の経緯」
21. Identification of Factors Affecting Cognitive and Behavioral Development of Children in Japan: Practice Records on Japan Children's Study ("Suku-Suku" Cohort) (R&D Focus Area: Brain-Science and Society)	共	2011年	Research Institute of Science and Technology for Society (RISTEX), Japan Science and Technology Agency (JST)	Kawaguchi H, Nakai A All Practical Records of the Japan Children's Study: How the Cohort Research Structure was Established.
22. 臨床医とコメディカルのための最新クリニカルPET	共	2010年	先端医療技術研究所、東京	中井昭夫「脳疾患の診断・評価 ?てんかん-」
23. Images in Child Neurology イメージからせまる小児神経疾患 50 -症例から学ぶ 診断・治療プロセス-（日本小児神経学会）	共	2010年	診断と治療社、東京	中井昭夫「緩徐に進行する運動失行、構語障害を呈した7歳女児」
24. コア・ローテーション 小児科	共	2003年	金芳堂、東京	中井昭夫、重松陽介「発達障害」
25. 遺伝医学入門	共	1998年	金芳堂、東京	中井昭夫「代謝異常」 pp. 70-73. 中井昭夫「アミノ酸尿症」 pp. 74-75.
2 学位論文				
1. Pathophysiologic Study on Methylmalonic Aciduria: Decrease in Liver High-Energy Phosphate after Propionate Loading in Rats.	共	1991年	Pediatric Research 7 :184-5. 1991	Nakai A, Shigematsu Y, Saito M, Kikawa Y, Sudo M
3 学術論文				
1. Manual Dexterity is not Related to Media Viewing but is Related to Perceptual Bias in School-Age Children	共	2020年	Brain Sci. 2020, 10(2), 100; https://doi.org/10.3390/brainsci10020100	Nobusako S, Tsujimoto T, Sakai A, Shuto T, Furukawa E, Osumi M, Nakai A, Maeda T, Morioka S.
2. 身体的不器用さを有する自閉スペクトラム症児の投動作における臨床的な特徴と介入効果について～投動作の質的な変化の違いに着目して～	共	2020年	自閉症スペクトラム研究 17:59-67. 2020.	綿引清勝、澤江幸則、島田博祐、中井昭夫
3. Neonatal irritable sleep-wake rhythm as a predictor of autism spectrum disorders.	共	2020年	Neurobiology of Sleep and Circadian Rhythms 9:100053. 2020. https://doi.org/10.1016/j.nbscr.2020.100053	Miike T, Toyoura M, Tonooka S, Konishi Y, Oniki K, Saruwatari J, Tajima S, Kinoshita J, Nakai A, Kikuchi K.

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
4. Altered sense of agency in children with developmental coordination disorder.	共	2020年	3 Research in Developmental Disabilities. 107: 103794. 2020. https://doi.org/10.1016/j.ridd.2020.103794	Nobusako S, Osumi M, Hayashida K, Furukawa E, Nakai A, Maeda T, Morioka S.
5. The time window for sense of agency in school-age children is different from that in young adults.	共	2020年	Cognitive Development https://doi.org/10.1016/j.cogdev.2020.100891	Nobusako S, Tsujimoto T, Sakai A, Shuto T, Hashimoto Y, Furukawa E, Osumia M, Nakai A, Maeda T, Morioka S.
6. Risk factors for motor coordination problems in preschool-aged children.	共	2020年	Pediatr Int. 2020 Apr 30. doi: 10.1111/ped.14275.	Suyama S, Yagyu K, Araki A, Miyashita C, Itoh S, Minatoya M, Yamazaki K, Tamura N, Nakai A, Saito T, Kishi R.
7. 特集『子どもの睡眠と発達脳、そしてその障害』不登校の影に潜む子どもの睡眠障害	単	2020年	日本外来小児科学会雑誌「外来小児科」23:205-209. 2020	中井昭夫
8. Subthreshold Vibrotactile Noise Stimulation Immediately Improves Manual Dexterity in a Child With Developmental Coordination Disorder: A Single-Case Study.	共	2019年	Front Neurol. 2019 Jun 12;10:717. doi: 10.3389/fneur.2019.00717. eCollection 2019.	Nobusako S, Osumi M, Matsuo A, Furukawa E, Maeda T, Shimada S, Nakai A, Morioka S
9. 児童・思春期における発達障害特性と社会的スキルとの関係	共	2019年	LD研究 28:325-335. 2019	片桐正敏、伊藤大幸、村山恭朗、高柳伸哉、浜田 恵、中島俊思、上宮 愛、明翫光宜、中井昭夫、辻井正次
10. 子どもの協調運動の発達と行動特性およびQOLとの関連—小学2年生と5年生を対象とした保護者記入による質問紙調査—	共	2019年	日本子ども学会雑誌「チャイルドサイエンス」18: 15-20. 2019	戸次佳子、中井昭夫、榊原洋一
11. Stochastic resonance improves visuomotor temporal integration in healthy young adults.	共	2018年	PLoS One 13(12): e0209382. 2018.	Nobusako S, Osumi M, Matsuo A, Fukuchi T, Nakai A, Zama T, Shimada S, Morioka S.
12. Development of Sleep Support System Using Electroencephalogram for Person with Developmental Disorders	共	2018年	Sensors and Materials 30:1457-1462. 2018	Ogoshi S, Ogoshi Y, Saitou T, Nishi H, Mitsuhashi Y, Nakai A
13. Manual Dexterity Is a Strong Predictor of Visuo-Motor Temporal Integration in Children.	共	2018年	Front Psychol. 2018 Jun 12;9:948. doi: 10.3389/fpsyg.2018.00948.	Nobusako S, Sakai A, Tsujimoto T, Shuto T, Nishi Y, Asano D, Furukawa E, Zama T, Osumi M, Shimada S, Morioka S, Nakai A.
14. 微細神経学的徴候（ソフト・ニューロロジカル・サイン）の発達	単	2018年	小児内科 50:1306-1309. 2018.	中井昭夫 「小児の正常発達シリーズ」
15. Applicability of the Movement Assessment Battery for Children-Second Edition (MABC-2) for Japanese children aged 3-6 years: a preliminary investigation emphasizing internal consistency and factorial validity	共	2018年	Frontiers in Psychology https://doi.org/10.3389/fpsyg.2018.01452	Hirata S, Kita Y, Yasunaga M, Suzuki K, Okumura Y, Okuzumi H, Hosobuchi T, Kokubun M, Inagaki M, Nakai A.
16. Deficits in visuo-motor temporal integration impacts manual dexterity in probable developmental coordination disorder.	共	2018年	Front. Neurol. 9:114. 2018 https://doi.org/10.3389/fneur.2018.0114	Nobusako S, Sakai A, Tsujimoto T, Shuto T, Nishi Y, Asano D, Furukawa E, Osumi M, Shimada S, Morioka S, Nakai A.
17. 発達障害は身体障害？—身体性からの神経発達障害へのアプローチ—	単	2018年	子どもの心とからだ。 26:362-364. 2018	中井昭夫
18. 幼児期における協調運動と行動及び情緒の問題の関連.	共	2017年	保健科学研究8:17-24. 2017	三上美咲、齊藤まなぶ、高橋芳雄。足立匡基、大里 絢子、増田貴人、中井昭夫、中村和彦、山田順子
19. Coordination difficulties in preschool-aged children are associated with maternal parenting stress: A community-based cross-sectional study.	共	2017年	Research in Developmental Disabilities. 70: 11-23. 2017	Takahashi M, Adachi M, Takayanagi N, Yasuda S, Tanaka M, Osato-Kaneda A, Masuda T, Nakai A, Saito M, Kuribayashi M, Nakamura K
20. Relationship between motor coordination, cognitive abilities, and academic achievement in Japanese children with neurodevelopmental disorders.	共	2017年	Hong Kong Journal of Occupational Therapy. 30:49-55. 2017.	Higashionna T, Iwanaga R, Tokunaga A, Nakai A, Tanaka K, Nakane H, Tanaka G.
21. 小児の睡眠関連疾患を診る～専門病院の立場から～	単	2017年	睡眠医療「小児の睡眠関連疾患」11:177-181. 2017	中井昭夫
22. Atomoxetine improves Motor Coordination in the Children with	共	2017年	Brain and Development 39 (Suppl):292. 2017.	Nakai A, Wakabayashi H, Abe K, Konishi Y

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
AD/HD - A Preliminary Report -				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 身体性から自閉スペクトラム症を捉え直す ～発達性協調運動症という視点～	単	2019年6月	第115回日本精神神経学会	シンポジウム15「自閉スペクトラム症の本質に迫る：感覚・運動機能という新たな視点から」シンポジスト
2. 協調をアセスメントする意義～Movement Assessment Battery for Children, 2nd Edition (M-ABC 2)を用いた臨床研究と日本語版の開発～	単	2019年4月	第3回日本DCD学会学術集会（長崎）	教育講演
3. DCDについて分かっていること、まだ分かっていないこと、知りたいこと	単	2018年4月	第2回日本DCD学会学術集会（弘前）	シンポジウム「DCDの脳科学的知見と実際の支援」シンポジアスト
4. 発達障害は身体障害？～身体性からの神経発達障害へのアプローチ～	単	2017年9月	第35回日本小児心身医学会（金沢）	教育講演
5. An Embodied Cognition Approach from Coordination to Neurodevelopmental Disorders.	単	2017年9月	ASEAN Pediatric Federation Congress 2017（Yangon, Myanmar）	招待講演（日本小児科学会推薦演者）
6. 協調からみた神経発達障害へのアプローチ	単	2017年6月	第59回日本小児神経学会（大阪）	シンポジウム「発達性協調運動障害の医療・療育・教育」シンポジアスト
7. 協調からみた神経発達障害 From the Classroom to the Bench, and Back	単	2017年4月	第1回日本DCD学会学術集会（神戸）	大会長講演
8. DAMP (Deficits in Attention and Motor Perception) 症候群 再考と再興 ～ADHDと発達性協調運動障害 (DCD) ～	単	2017年3月	日本ADHD学会 第8回総会（横浜）	教育講演
9. なぜ、今、DCDなのか？～協調からの神経発達障害へのアプローチ～	単	2017年10月	第59回日本LD学会（宇都宮）	大会企画シンポジウム「不器用さのある子どもたち～発達性協調運動障害 (DCD) という視点からの理解と支援～」シンポジアスト
10. 小児科医にこそ知ってほしい身体性からみた神経発達障害～発達性協調運動障害について～	単	2016年7月	第49回日本小児科学会兵庫県地方会（神戸）	第40回吉馴学術記念講演会 特別講演
11. ぶきつちよな子どもたち ～発達性協調運動障害の気づきからアセスメント、そして支援へ	単	2016年2月	日本小児神経学会（富山）	第10回プライマリケア医のための 子どもの心の診療セミナー
12. 不器用な脳？～身体性から考える神経発達障害～	単	2016年12月	日本教育心理学会（茨木）	2016年度公開シンポジウム「発達障がいはどう向き合うかー特別な配慮を必要とする児童・生徒の現状と学校適応ー」シンポジスト
13. かしこい身体、じょうぶな頭～身体性からみた子どもの脳とこころの発達～	単	2016年10月	第12回日本子ども学会学術集会（神戸）	大会長講演
14. 協調から見た神経発達障害へのアプローチ	単	2015年6月	第49回日本作業療法学会（神戸）	ナイトセミナー「子どもの不器用さを考える～発達性協調運動障害 (DCD) を理解し、支援につなげるために～」特別講演
2. 学会発表				
1. 不器用さを有する年長児に対するCO-OPを用いた介入の有効性についてのパイロットスタディ	共	2019年9月	第53回日本作業療法学会	安永正則、宮口英樹、石附智奈美、北洋輔、中井昭夫
2. 運動の不器用さのある神経発達症児に対する小集団作業療法の効果	共	2019年9月	第53回日本作業療法学会	東恩納拓也、徳永瑛子、日高欣哉、中井昭夫、岩永竜一郎
3. Differences in fine motor performance between first and second trials in children with autism spectrum disorder and attention deficit/hyperactivity disorder.	共	2019年6月	13th International Conference on Developmental Coordination Disorder (DCD-13) Jyväskylä, Finland	Higashionna T, Tokunaga A, Hidaka K, Nakai A, Iwanaga R, Tanaka G
4. Impacts of DCD and AD/HD traits on Handwriting Skills in the Japanese Children with Neurodevelopmental Disorders.	共	2019年6月	13th International Conference on Developmental Coordination Disorder (DCD-13) Jyväskylä, Finland	Aoki Y, Arimitsu K, Nakai A
5. 学童期の神経発達障害におけるM-ABC2を用いた協調の評価	共	2019年5月	第61回日本小児神経学会	中村由紀子、河野千佳、大澤麻記、杉浦信子、小沢愉理、小沢浩、中井昭夫、北洋輔
6. 発達性協調運動障害を併存する発達性読み書き障害の臨床特性	共	2019年5月	第61回日本小児神経学会	岡牧郎、中井昭夫、諸岡輝子、花房香、津島靖子、花岡義行、秋山麻里、小林勝弘
7. 発達性協調運動障害の可能性を有する児の手の器用さに対する振	共	2019年4月	第3回日本DCD学会学術集会	信迫悟志、大住倫弘、松尾 篤、古川恵美、中井昭夫、森岡 周

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
動触覚ノイズ装置の即時効果				
8. 運動の不器用さを有する児に対する閾値下振動触覚ノイズ刺激による即時効果の検証	共	2019年12月	第6回日本小児理学療法学会学術大会	信迫悟志、大住倫弘、松尾篤、古川恵美1、森岡 周、中井昭夫
9. 運動の不器用さを有する児に対する閾値下振動触覚ノイズ刺激による即時効果の検証	共	2019年11月	第6回日本小児理学療法学会学術大会(博多)	信迫 悟志、大住 倫弘、松尾 篤、古川 恵美、森岡 周、中井 昭夫
10. 不器用さを有する年長児に対する課題指向型アプローチの有効性についてのパイロットスタディ	共	2018年9月	第52回日本作業療法学会(名古屋)	安永正則、中井昭夫、北 洋輔、石附智奈美、宮口英樹
11. 年長児における協調運動と作業遂行の関連 —M-ABC2とAMPSを用いて—	共	2018年9月	第52回日本作業療法学会(名古屋)	池田 知美、伊藤 祐子、石橋 裕、中井 昭夫
12. 身体的不器用さを有する発達障害児に対する投動作の介入 効果について2 課題指向型アプローチにおける介入効果の分析から	共	2018年9月	日本特殊教育学会 第56回大会(大阪)	島田 博祐、綿引 清勝、澤江 幸則、中井 昭夫
13. 不登校の要因としての小児睡眠障害	共	2018年9月	第16回県立病院学会分科会	豊浦麻記子、中井昭夫、豊田有子、小西行郎、三池輝久、菊池 清 (優秀論文奨励賞)
14. 身体的不器用さを有する発達障害児に対する投動作の介入 効果について1 —小集団SSTにおける運動ゲームを通じたマナー・ルール学習—	共	2018年9月	日本特殊教育学会 第56回大会(大阪)	島田 博祐、綿引 清勝、澤江 幸則、中井 昭夫
15. 新生児、乳児期の睡眠障害は発達障害の有効な予測因子	共	2018年5月	第60回日本小児神経学会(幕張)	三池輝久、小西行郎、豊浦麻紀子、中井昭夫、田島世貴
16. 小児概日リズム睡眠障害に対する治療効果判定のためのバイオマーカーの探索	共	2018年5月	第60回日本小児神経学会(幕張)	豊浦麻記子、豊田有子、中井昭夫、三池輝久、小西行郎、菊池清、田島世貴、船曳康子、海老瀬速雄、米山敏広、青木幹雄、鍋島陽一
17. 不器用児に対する小集団作業療法の効果に関する予備的研究	共	2018年4月	第2回 日本DCD学会学術集会(弘前)	東恩納拓也、徳永瑛子、日高欣哉、中井昭夫、岩永竜一郎
18. 不登校の要因としての小児睡眠障害	共	2018年4月	第121回日本小児科学会学術集会(博多)	豊浦麻記子、中井昭夫、豊田有子、小西行郎、三池輝久、菊池 清
19. 困り感を有する高い知能のある人の協調運動特性	共	2018年4月	第2回日本DCD学会 学術集会(弘前)	片桐 正敏、長瀬 桃果、中井 昭夫
3. 総説				
1. 小児神経発達障害と睡眠との関連	単	2020年	Progress in Medicine 40: 281-286, 2020.	中井昭夫
2. 小児神経発達障害における睡眠障害の治療の実際 —自閉症スペクトラム障害とメラトニンについて—	単	2020年	Progress in Medicine 40:403-407, 2020	中井昭夫
3. 協調からみた神経発達障害	単	2017年	日本小児科学会雑誌 121:817-825, 2017	中井昭夫 *日本小児精神神経学会推薦総説
4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 「不器用さ、発達障害かも 脳機能に起因も 怒らず適切な支援を熊本市で講演会」		2020年3月6日	熊本日日新聞	第67回熊本小児保健研究会でのDCDに関する講演内容定員100名のところ、申込みが殺到し、最終的に400名の参加者 https://this.kiji.is/608554963985007713?c=92619697908483575 その他以下、全国版でのNEWSにも掲載された。 Yahoo NEWS (2020年3月6日) https://headlines.yahoo.co.jp/h1?a=20200306-00000009-kumanichi-143 ORICON NEWS (2020年3月6日) https://www.oricon.co.jp/article/1100948/goo NEWS (2020年3月6日) https://news.goo.ne.jp/article/kumanichi/region/kumanichi-1377721.html
2. 日本子ども学会創設者 小林登先生を悼んで	単	2020年	日本子ども学会雑誌「チャイルドサイエンス」19:8, 2020	中井昭夫
3. 小西行郎先生との思い出	単	2020年	日本赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」19:26-27, 2019	中井昭夫
4. 学院創立80周年記念事業 公募型採択事業 Light It Up Blue MUK OJO! ~武庫女を青く照らそう!	共	2020年	臨床教育学研究 26:53-65, 2020	中井昭夫、長井志江

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
～				
5. NHK Eテレ 「すくすく子育て」 「子どもの発達に気がなったら」		2019年11月2日	NHK	番組内容 https://www.nhk.or.jp/sukusuku/p2019/794.html 本放送は、NHK「特集：発達障害って何だろう」のプログラムの一環である。 https://www.nhk.or.jp/kenko/special/hattatsu/sp_1.html
6. 不器用のすゝめ	共	2019年11月		鈴鹿高等学校放送部制作 第66回NHK杯 全国高校放送コンテスト（テレビドキュメント部門） 三重県大会で奨励賞を受賞
7. 中井昭夫、加藤光広、山本 仁 「そうだ！海外へ行こう～海外留学のススメ～」	共	2019年	脳と発達 51:114-45. 2019.	日本小児神経学会 国際化推進委員会主催セミナーの報告
8. ラジオNIKKEI 第1「未来の学校 ラジオ分室」	単	2018年9月4日	ラジオNIKKEI	「夏休み明けの生活リズムの整え方～小児科医が診た不登校」 http://www.radionikkei.jp/mirainogakko/ http://www.kodomo-zaidan.net/event/113
9. NHK ハートネット「発達性協調運動障害の子どもたち 必要な療育とは？」		2018年10月18日	NHK	ハートネット HP記事 https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/125/
10. NHK ハートネット「極端に不器用な子どもは発達障害の可能性も！？ 発達性協調運動障害とは」		2018年10月18日	NHK	ハートネット HP記事 https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/124/
11. 「運動の不器用さを抱える子どもたち ～発達性協調運動障害 (DCD) という視点からの理解と支援～」	単	2018年	こころの科学 202:9-14 .2018.	論説
12. 「子どもの睡眠障害の包括的時間治療、そして先制医療、次世代のための眠育」	単	2018年	児童心理 1055:118-125 .2018	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第4回
13. 「睡眠障害と神経発達障害との関連について」	単	2018年	児童心理 1053:117-123 .2018	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第3回
14. 「不登校の影に潜む子どもの睡眠障害」	単	2018年	児童心理 1052:119-125 .2018	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第2回
15. 「ヒトはなぜ眠るのか？睡眠の重要性について」	単	2017年	児童心理 1050:117-123 .2017	連載「子どもの睡眠の問題への理解と対応」第1回
6. 研究費の取得状況				
1. 顕在化しにくい発達障害の特性を早期に抽出するアセスメントツールの開発および普及に関する研究		2017年～2018年		厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究 研究分担者（研究代表者：稲垣真澄）
2. 発達性協調運動障害の病態モデルの構築とニューロリハビリテーションの開発		2016年～2019年		基盤研究(C) 16K09981 研究代表者
3. 顕在化しにくい発達障害の特性を早期に抽出するアセスメントツールの開発および普及に関する研究		2016年～2017年		厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究 研究分担者（研究代表者：稲垣真澄）
4. 高校・大学生の発達障害における身体機能障害の評価・支援法の開発とデータベース構築		2013年～2016年		基盤研究(C) 25381301 研究代表者
5. 胎児期からのハイリスク児の臨床観察による発達障害理解と包括的診断法構築		2012年～2017年		新学術領域研究(研究領域提案型) 24119004 構成論的発達科学—胎児からの発達原理の解明に基づく発達障害のシステムの理解 連携研究者（研究代表者：國吉康夫）
6. 「発達障害児・者のニーズやライフステージに応じたトランジション・リエゾン支援のための医療・福祉分野等の人材育成に関する調査」		2012年		平成24年度 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業 「医療や福祉分野の発達障害支援者の人材育成体制の調査について」 分担研究者（研究代表者：瀧澤治美）
7. 就学前後の児童における発達障害の有病率とその発達の变化：地域ベースの横断的および縦断的研究		2011年～2013年		厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究 研究分担者（研究代表者：神尾陽子）
8. 発達障害児の認知・脳機能の解明と教育・医療連携支援システムの開発		2009年～2011年		基盤研究(B) 21330151 研究分担者（研究代表者：三橋美典）
9. 1歳からの広汎性発達障害の出現とその発達の变化：地域ベースの横断的および縦断的研究		2008年～2010年		厚生労働科学研究費補助金「こころの健康科学研究事業」 分担研究者（研究代表者：神尾陽子）
10. 不器用さ・発達性協調運動障害のバイオメカニクス・ニューロイメージング研究		2008年～2010年		基盤研究(C) 20591219 研究代表者
11. 児童虐待防止をめざした青年期の		2008年～201		基盤研究(C) 20592576 研究分担者（研究代表者：佐

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
6. 研究費の取得状況				
親性育成に関する心理・生理・内分泌・脳科学的研究		0年		々木綾子)
12. 現場・地域と協働した「子どものこころ」の成長・発達に関する脳科学と教育の融合研究体制の構築と還元のある方についての検討		2007年		平成19年度 文部科学省「子どものこころの成長に関する基盤整備事業」 分担研究者（研究代表者：眞弓光文）
13. 母性を育てる学習プログラムの開発と評価-心理・生理・内分泌・脳科学による母性性育成過程の解明		2005年～2007年		基盤研究(C) 17592240 研究分担者（研究代表者：佐々木綾子）
14. 軽度発達障害児を認知・神経心理学的手法から判別し、特性に応じた教育支援を実施する		2005年～2007年		基盤研究(C) 17530472 研究分担者（研究代表者：三橋美典）
15. 非侵襲的脳機能画像法を用いた社会能力発達過程の解明-複数個体間相互作用の定量とその神経基盤の解析		2005年～2009年		基盤研究(S) 17100003 研究分担者（研究代表者：定藤 規弘）
16. 正常および病的な新生児における成長ホルモン分泌動態とStateの日内変動との関係		1994年～1995年		一般研究(C) 06670777 研究代表者 中井 昭夫(1994) 小西 行郎(1995)
17. 有機酸代謝異常症の急性期における病態生理とその治療に関する研究		1993年～1994年		奨励研究(A) 05770517 研究代表者
18. 安定同位体を用いた核磁気共鳴法の先天代謝異常症の診断・病態解析への応用		1992年～1992年		奨励研究(A) (04770587) 研究代表者

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2018年～現在	日本臨床発達心理士会 兵庫支部 副支部長
2. 2017年4月	第1回日本DCD学会学術集会 大会長
3. 2017年～2020年	日本小児科学会 英文誌 Pediatric International Editorial Board (Developmental-Behavioral Pediatrics担当)
4. 2015年10月	第12回日本子ども学会学術集会 大会長
5. 2013年～2017年	日本赤ちゃん学会雑誌「ベビーサイエンス」編集委員長
6. 2010年～現在	特定非営利活動(NPO) 法人AOZORA福井 理事
7. 2009年～2017年	日本小児神経学会 学会誌「脳と発達」編集委員
8. 2009年～2011年	科学技術振興機構(JST)/社会技術研究開発センター(RISTEX)「脳科学と社会」JCS (Japan Children's Study) 委員会 委員
9. 2005年～2007年	科学技術振興機構(JST)/社会技術研究開発センター(RISTEX)「脳科学と社会」オブザーバー アジア・オセアニア小児神経学会 終身会員 日本DCD学会 理事 日本発達神経科学学会 理事 国際DCD研究学会 日本代表committee 日本小児精神神経学会 代議員 日本小児神経学会 国際化推進委員 日本小児神経学会 長期計画委員 日本小児神経学会 評議員 日本赤ちゃん学会 理事 日本子ども学会 理事